

第7回 西成区長タウンミーティング議事要旨 (西成区民センター)

【日時】

平成 25 年 4 月 25 日 (木) 午後 7 時～午後 9 時

【場所】

西成区民センター ホール

【臣永区長あいさつ】

2月にタウンミーティングを6回開催したが、寒い時期だったので、足を運んでいただくことも難しかったと思うので、あらためて開催させていただいた。皆様方に、3点、お詫びをしなければならない。

1点目は、区役所の格付けについて、星印の4段階で評価されるが、残念ながら西成区は星なしの評価だった。反省して、職員一丸となってサービス向上に努めていきたい。

2点目は、先日(4月13日)の地震の際に、ツイッターで発信しない区役所の中にも含まれてしまった。区役所としては地震についての対応は行っていたが、ツイッター発信はできていなかった。

3点目は、2月の6回のタウンミーティングで、住吉市民病院についてたくさんのご意見をいただいたが、個別の住吉市民病院について、なぜ説明会を開かないのかと6回全ての会場でご意見いただいた。十分に対応できず申し訳なく思っている。今回は、3番目の項目で十分なご説明をさせていただき予定であり、病院局からも担当者が来ている。高橋区長とは、この件で、何回も話をしており、高橋区長と一緒に橋下市長のところへ一緒に説明に行った。

タウンミーティングのサブタイトルは、「未来に向かって」になっている。西成区は、多くの課題を抱えているが、今年度から西成特区構想がいよいよ始まる。まちづくりや行政は、船にたとえられる。船長一人で何かできるわけではなく、スタッフと一緒に船を進めていきたい。区民、市民の皆様方も単なるお客さんとして乗船しているのではなく、一緒にどっちの方へ向けて進めていくか考えていただきたい。皆様の考えをお聞きするために、このような会を開かせていただいている。

今回は夜の時間ですので、ご参加できない方もおられると思いますので、これからは、小規模な会合や、PTAの保護者の皆様の所や、地域の会議に出席していきたいと思っている。

【区役所からの説明】

- ・ 西成特区構想
- ・ 中学校給食
- ・ 幼稚園民営化
- ・ 学校選択制
- ・ 住吉市民病院にかかる状況報告

【参加された皆さまからの主なご意見】

- ・ 西成区だけを特区にするのか？それとも、全区ですか？
- ・ 生活保護を貰っている人間にとって、今、一番知りたいことは、生活扶助費が1割カットされるなどと聞こえてくるが、この点について西成区は把握しているのか？
- ・ 生活扶助費のカットについて、まだ決まっていないのなら、国会審議で立ち消えになるかもしれないのか？
- ・ あいりん労働センターは、いくらぐらいの震度まで耐えられるのか？
また、市営住宅、医療センターについて、解体して移転する話が一気に出た以降、耐震の話が一向に出ていない。どうなっているのか？
- ・ 不法投棄について、何カ所も防犯カメラを付けているが効果がない。どこが管理しているのか？
- ・ 不法投棄は犯罪ではないのか？犯罪なら、どんどん捕まえたらいいのではないか？
- ・ 特区構想について、個別具体のことや、いつまでにやるのかなど全く触れていない。また、あいりん地域の生活保護者を対象にするのか、西成区全体の生活保護者を対象にするのかも触れていない。きめ細かい計画を立てて欲しい。
- ・ 学校給食について、ご飯は温いけど、おかずは冷たいと解釈していいか？
- ・ 給食は、産地をチェックしているのか？
- ・ 給食は、自校方式にしたら冬でも温いものが食べられるので解決すると思うが？
- ・ 区長は、西成区長になられて、今、どう感じているのか？
- ・ 西成区はイメージが悪い。今年中に路上生活者に仕事を与え、やる気を持たせ、豊かな生活にするような政策を考えて欲しい。
- ・ 西成区のイメージアップ映像に出演している職員について、既に産休中に入っているのに出演させていると批判的な情報が流れている。産休中の方を無報酬で出演させるのは、かえってイメージダウンになる。実態を調べてホームページへ書いて欲しい。

- ・ 西成区職員の情報の扱いに疑問を感じる。司会の方が、西成区のイメージアップ映像出演者の現状を関知していないと言っていたが、無事出産されたと公表されている。そのことについて、西成区のホームページや市長のツイッターには何も書かれていない。お祝いの言葉ぐらいあってもいいのではないか。
- ・ 西成区のイメージアップ映像出演者について、本人同意がとれたからといっても産休中に働かせるのはどうかと思う。かえって西成区のイメージダウンになる。なぜそんなに無理するのか？
- ・ 平成 25 年度予算であいりんに 5 億円計上しているが、前年度から増えているのか？また、将来への設計代も入っているのか？
- ・ 学校給食の説明では、事前に 1 か月単位で申し込むことになっているとのことだが、詳しく教えて欲しい。
- ・ 学校選択制の説明では、自由な選択をさせるというが、小学 1 年、2 年生が本当に自分で選択できるのか。親のエゴになるのではないか。再考をお願いしたい。
- ・ 資料の中にある、短期集中的な対策で、「あいりん地域における高齢単身生活保護受給者の社会的つながりづくり事業」について、書いてあることは立派なことだが、具体的なものはあるのか？
- ・ 住吉市民病院は、生活にとってなくてはならない病院なので、無くなると困る。署名運動して市長にも届けたが、聞いていただけなく残念だ。市南部地域は、病院自体が足りない状態で、本当に賄えるのか心配である。市会で民間病院を誘致するように付帯決議されているが、どこまで保障されているのかと思う。私達の不安をどのように解消してくれるのか説明いただきたい。また、住吉市民病院が今後どうなっていくのか、具体的な計画やスケジュールを教えていただきたい。
- ・ 私達は、住吉市民病院を現地での建替えを望んでいることを分かって欲しい。地域の医療の拠点と、まちづくりの役割を担っていると思う。私達の切実な声を、病院局、区長から市長に伝えて欲しい。
- ・ 橋下市長から、特区構想とは、西成区をえこひいきすることと教えられた。今日の説明の中で、どこにえこひいきされているのか分からない。特区構想はいつまで続くのか？西成区を特別扱いするのか？
区長は、一杯わがままを言って、えこひいきされるようにしてきて欲しい。特別扱いする項目、わがままいう項目があるのであれば、教えて欲しい。
- ・ 西成区の問題は、歴史的観点から考えないといけない。西成区は、1200 年程前か 1000 年以上、今宮の浜でとれた魚介類を毎日京都の宮中に献上したり、八坂神社に上洛し奉仕していた。西成区は、昔は、ボランティア精神ですごいことをしていた。橋下市長は、西成が良くならなければ、大阪市、

日本が良くなると言った。破格の予算を取ってこないで西成区は良くなると言わない。

- ・ 住吉市民病院は、地域防災に位置付けられた災害医療センターなので、絶対消滅させてはいけないと思う。
- ・ 住吉市民病院の機能統合について、建物には言及しているが、スタッフのことはぜんぜん触れられていないがどうなっているのか？

【区役所からの発言】

- ・ 西成特区構想は、西成区において色々な対策を集中的に行う。
- ・ 厚生労働省は、はっきり何パーセントカットとは言っていない。西成区に多くおられる高齢単身者の生活扶助費については、カットされるのは、わずかだと聞いている。厚生労働省は、今年と来年については、はっきりとした基準を示していない。
- ・ 生活保護の扶助費の基準は、国会での議決事項ではなく、厚生労働大臣が決める事項なので、国会の審議は通らない。
- ・ あいりん総合センターについて、現在は、国の耐震基準は満たしていないので、平成 27 年度までに対策を考えなければならないと聞いている。
- ・ あいりん総合センターは、労働関係の施設の上に、市の持ち物である市営住宅と社会医療センターがある。建物全体が耐震基準を満たしているが、ひとつのアイデアとして、まず市の部分を撤去すれば建物の重さが軽くなるので、耐震補強も少なく済むのではないかとという 1 つの案がある。しかし、この案は費用がかかる。費用的には、一から立て直す方法が一番費用がかからないが、市営住宅に住んでおられる方々や病院機能をどうすべきかなど、様々な課題があるので、西成特区構想の提言書の中で、これから地域の方と検討していこうとなっている。
- ・ 不法投棄のためのカメラは、大阪市の環境局が担当している。
- ・ 不法投棄の問題も含めて、西成特区構想の中で検討していく。
- ・ 西成特区構想の個別具体的なものについては、説明資料は、まとめたものなので詳細については書いていないが、福祉局が詳細について検討している。施策の期限については、各々の局で検討していると思っているが、区役所としては、現段階では把握していない。しかし、結核対策については、平成 29 年度までに結核患者の新規患者数を半分にすると目標にしている。西成特区構想の短期集中的な対策については、あいりん地域に集中した施策である。
- ・ 中学校給食について、ご飯は 65 度以上に保つ。おかずについては、再加熱できないことになっている。再加熱することになると経費的な面で難しいと聞いている。おかずは、衛生面からも食べる前まで冷蔵庫で保存する

となっております、冷えたままとなる。

- ・ 中学校給食の材料については、教育委員会でチェックしていると思う。
- ・ 中学校給食については、ハード面からお弁当方式となっている。自校方式となると経費面からなかなか難しい。
- ・ 西成区のイメージアップ映像の出演の職員が、いつ出産されたかは、ご本人からはお伺いしていない。本人の意向も確認した上で、産休の間も含めてお手伝いいただいたことは事実である。これからは、身体が十分戻ってから新しい撮影に入ることを考えている。
- ・ 西成区のイメージアップ映像にかかわってのご意見については、今回初めてお聞きするので、いただいたようなご意見もあるということでお伺いする。
- ・ あいりんの5億円の対策については、福祉局が所管しており、シェルターの運営費用、社会的な就労支援の予算を組んでいる。
シェルターの建替えの設計費用は別途予算が計上されている。
- ・ 中学校給食については、教育委員会が所管しているが、日単位のキャンセルはできないことになっている。例外として、暴風警報、インフルエンザによる学級閉鎖により給食が中止になった場合には、年度末にまとめて返金すると聞いている。
- ・ 学校選択制については、西成区は特に地域との関りが密接なので、地域とのつながりの大切さなどを親子や近所の方などでご議論いただきながら考えていきたい。今後の説明会で、多くのご意見をいただきながら区の方針を決めていきたい。
- ・ 「あいりん地域における高齢単身生活保護受給者の社会的つながりづくり事業」については、一定の軽作業や農作業などを行うことで、社会参加を実現できるよう、現在、取組みを進めている。
- ・ 西成特区構想については、継続事業もあるが新規事業の予算をあいりん地域を中心に集中的に予算をつけている。期間は、当面5年間をめどに実施していく。
- ・ 今後は、区長が地域の中へお伺いして、ご意見を聞かせいただく機会を作っていきたいと考えている。

【病院局からの発言】

- ・ 住吉市民病院跡地を利用した病院建設について民間医療機関を対象にマーケット・サウンディング（公募前の意思表示）を実施したところ、6件の意向表明があったので、それを公募に結び付けていけるように努力していきたい。今日のお声をしっかり受けとめていきたい。
- ・ 府立急性期に統合される新棟の部分については、今まさに検討中であり、

具体的なことはまだわからない。

【区長からの発言】

- ・ 西成区に来てみて、懐の深い人情の厚い町で、大変気持ちよく過ごさせてもらっている。この西成の町の発展のために、私に何ができるのか今一生懸命考え走り回っている。このタウンミーティングでは、十分膝を交えて話出来ないこともあると思うので、小さい会に出かけて行って、忌憚のないご意見を伺って、区民の皆様の目線で町づくりを考え、一緒に汗を流していきたいと思う。
- ・ 野宿者の方々について、仕事をする意欲のある方には、働く場所を提供したい。健全な形でビジネスをして収入を得て社会復帰を図れるようなお手伝いは、地域と一緒にやっていけると思うので、案を講じていきたい。
- ・ 歴史を基にした振興については、西成の誇る歴史は祭りなどの行事に参加して身にしみて感じている。今後、区内の誇るべき歴史と文化について広く発信していきたいと思う。